

これからの地域包括ケアを見据えた職種間連携の構築 ～リハビリテーションという視点の開花～

後藤亮平 先生

筑波大学 医学医療系 地域医療教育学

平成29年5月16日（火）

18：30～20：30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

複雑化した社会問題や高齢者の増加に伴い、早急な保健医療福祉の効率化が求められています。その中で、WHO は限られた医療資源の有効な活用に向けた多職種連携（Inter-professional work）や職種役割を超えた連携（Trans-professional work；以下 TPW）の在り方を提示しました。今後ますます人的資源の不足が懸念される介護施設や地域包括ケアにおいては、自職種の役割に留まらず、様々な職種と TPW を実践し、入所者・住民の生活を支えていくことが重要になります。そこで今回は、リハビリテーションという視点に焦点をあて、いかに他職種とその視点を共有し、他職種の中でリハビリテーションという視点を開花させるかについてお話しいたします。

今回の勉強会では、筑波大学医学医療系地域医療教育学 後藤亮平先生に「これからの地域包括ケアを見据えた職種間連携の構築 ～リハビリテーションという視点の開花～」の演題で、お話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医2単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（高齢者医学）の一部となっています。

連絡先：筑波大学医学医療系
福祉医療学
柳 久子

TEL&FAX：029-853-3496